

be English Logic and Expression I Clear

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、目標の欄に (TASK-A) (SHARE) (WRITE) のような形で表しています。参考にお使いください。

LESSON 1 Meeting People

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現在形や現在進行形を正しく用いて表現することができる。 ・自分や身近な人のことについて話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	---

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 動詞の現在形や現在進行形の意味や働きについて理解している。(CHECK-C,D) <技能> 自分ことや、今自分がしていることについて、動詞の現在形や現在進行形を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-C,D)	<知識> 動詞の現在形や現在進行形の意味や働きについて理解している。(CHECK-A) <技能> 自分や身近な人について、動詞の現在形や現在進行形を用いて話す技能を身につけている。(TASK-A,SHARE)	<知識> 動詞の現在形や現在進行形の意味や働きについて理解している。(CHECK-B) <技能> 自分や身近な人の習慣について動詞の現在形や現在進行形を用いて、書く技能を身につけている。(WRITE)
	a	自分ことや、今自分がしていることについて、動詞の現在形や現在進行形などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a 自分や身近な人について、動詞の現在形や現在進行形の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a 自分や身近な人の習慣について動詞の現在形や現在進行形を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	自分ことや、今自分がしていることについて、動詞の現在形や現在進行形などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b 自分や身近な人について、動詞の現在形や現在進行形の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b 自分や身近な人の習慣について動詞の現在形や現在進行形を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	自分ことや、今自分がしていることについて、動詞の現在形や現在進行形を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c 自分や身近な人について、動詞の現在形や現在進行形の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c 自分や身近な人の習慣について動詞の現在形や現在進行形を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	自分ことや、今自分がしていることについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-C,D)	目標 自分や身近な人についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。(TASK-A,SHARE)	目標 自分や身近な人の習慣についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	自分ことや、今自分がしていることについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a 自分や身近な人についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a 自分や身近な人の習慣についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	自分ことや、今自分がしていることについて、伝え合うことができる。	b 自分や身近な人についての情報を、話すことができる。	b 自分や身近な人の習慣についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	自分ことや、今自分がしていることについて、伝え合うことが十分できない。	c 自分や身近な人についての情報を、話すことが十分できない。	c 自分や身近な人の習慣についての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	自分ことや、今自分がしていることについて、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-C,D)	目標 自分や身近な人のことについての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A, SHARE)	目標 自分や身近な人の習慣についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	自分ことや、今自分がしていることについて、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a 自分や身近な人のことについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a 自分や身近な人の習慣についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	自分ことや、今自分がしていることについて、伝え合う姿勢がみられる。	b 自分や身近な人のことについての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b 自分や身近な人の習慣についての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	自分ことや、今自分がしていることについて何とか伝え合う姿勢がみられない。	c 自分や身近な人のことについての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c 自分や身近な人の習慣についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression I Clear

※3領域について、3つの評価観点原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

LESSON 2 Holidays and Weekends

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・過去形や過去進行形を正しく用いて表現することができる。 ・休日・週末にしたことについて話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	---

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 動詞の過去形や過去進行形の意味や働きについて理解している。(CHECK-A) <技能> 週末の出来事について、動詞の過去形や過去進行形を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A)	<知識> 動詞の過去形や過去進行形の意味や働きについて理解している。(TASK-B) <技能> 昔していたことについて、動詞の過去形や過去進行形を用いて話す技能を身につけている。(TASK-B, SHARE)	<知識> 動詞の過去形や過去進行形の意味や働きについて理解している。(CHECK-C, D) <技能> 週末の出来事について動詞の過去形や過去進行形を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-C, WRITE)
	a	週末の出来事について、動詞の過去形や過去進行形などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	昔していたことについて、動詞の過去形や過去進行形の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	週末の出来事について動詞の過去形や過去進行形を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	週末の出来事について、動詞の過去形や過去進行形などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	昔していたことについて、動詞の過去形や過去進行形の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	週末の出来事について動詞の過去形や過去進行形を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	週末の出来事について、動詞の過去形や過去進行形を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	昔していたことについて、動詞の過去形や過去進行形の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	週末の出来事について動詞の過去形や過去進行形を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	週末の出来事について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-A)	昔していたことについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。(TASK-B, SHARE)	週末の出来事についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-C, WRITE)
	a	週末の出来事について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	昔していたことについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	週末の出来事についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	週末の出来事について、伝え合うことができる。	昔していたことについての情報を、話すことができる。	週末の出来事についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	週末の出来事について、伝え合うことが十分できない。	昔していたことについての情報を、話すことが十分できない。	週末の出来事についての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	週末の出来事について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A)	昔していたことのことについての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-B, SHARE)	週末の出来事についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(TASK-C, WRITE)
	a	週末の出来事について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	昔していたことのことについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	週末の出来事についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	週末の出来事について、伝え合う姿勢がみられる。	昔していたことのことについての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	週末の出来事についての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	週末の出来事について何とか伝え合う姿勢がみられない。	昔していたことのことについての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	週末の出来事についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression I Clear

※3領域について、3つの評価観点原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

LESSON 3 Making Plans

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・未来の表現を正しく用いて表現することができる。 ・予定について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	---

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 未来の表現の意味や働きについて理解している。(TASK-C) <技能> 休日の予定について、未来の表現を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-C, SHARE)	<知識> 未来の表現の意味や働きについて理解している。(CHECK-D) <技能> 留学先での計画について、未来の表現を用いて話す技能を身につけている。(TASK-D)	<知識> 未来の表現の意味や働きについて理解している。(CHECK-A, B) <技能> 休日の予定について未来の表現を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-A, WRITE)
	a	休日の予定について、未来の表現などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	留学先での計画について、未来の表現の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a 休日の予定について未来の表現を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	休日の予定について、未来の表現などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	留学先での計画について、未来の表現の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b 休日の予定について未来の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	休日の予定について、未来の表現を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	留学先での計画について、未来の表現の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c 休日の予定について未来の表現を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	休日の予定について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-C, SHARE)	留学先での計画についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。(TASK-D)	休日の予定についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-A, WRITE)
	a	休日の予定について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	留学先での計画についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a 休日の予定についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	休日の予定について、伝え合うことができる。	留学先での計画についての情報を、話すことができる。	b 休日の予定についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	休日の予定について、伝え合うことが十分できない。	留学先での計画についての情報を、話すことが十分できない。	c 休日の予定についての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	休日の予定について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-C, SHARE)	留学先での計画のことについての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-D)	休日の予定についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(TASK-A, WRITE)
	a	休日の予定について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	留学先での計画のことについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a 休日の予定についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	休日の予定について、伝え合う姿勢がみられる。	留学先での計画のことについての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b 休日の予定についての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	休日の予定について何とか伝え合う姿勢がみられない。	留学先での計画のことについての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c 休日の予定についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression I Clear

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

LESSON 4 Travel

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形を正しく用いて表現することができる。 ・旅行のことについて話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	--

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 動詞の現在完了形の意味や働きについて理解している。(TASK-B,D) <技能> 旅先について、動詞の現在完了形を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-B,D, SHARE)	目標 <知識> 動詞の現在完了形の意味や働きについて理解している。(CHECK-C) <技能> 1 学年が終了する時点でのことについて、動詞の現在完了形を用いて話す技能を身につけている。(TASK-C)	目標 <知識> 動詞の現在完了形の意味や働きについて理解している。(CHECK-A) <技能> 旅行の経験について動詞の現在完了形を用いて、書く技能を身につけている。(WRITE)
	a	旅先について、動詞の現在完了形などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a 1 学年が終了する時点でのことについて、動詞の現在完了形の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a 旅行の経験について動詞の現在完了形を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	旅先について、動詞の現在完了形などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b 1 学年が終了する時点でのことについて、動詞の現在完了形の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b 旅行の経験について動詞の現在完了形を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	旅先について、動詞の現在完了形を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c 1 学年が終了する時点でのことについて、動詞の現在完了形の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c 旅行の経験について動詞の現在完了形を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	旅先について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-B,D, SHARE)	目標 1 学年が終了する時点でのことについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。(TASK-C)	目標 旅行の経験についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	旅先について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a 1 学年が終了する時点でのことについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a 旅行の経験についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	旅先について、伝え合うことができる。	b 1 学年が終了する時点でのことについての情報を、話すことができる。	b 旅行の経験についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	旅先について、伝え合うことが十分できない。	c 1 学年が終了する時点でのことについての情報を、話すことが十分できない。	c 旅行の経験についての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	旅先について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-B,D, SHARE)	目標 1 学年が終了する時点でのことのことについての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-C)	目標 旅行の経験についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	旅先について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a 1 学年が終了する時点でのことのことについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a 旅行の経験についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	旅先について、伝え合う姿勢がみられる。	b 1 学年が終了する時点でのことのことについての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b 旅行の経験についての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	旅先について何とか伝え合う姿勢がみられない。	c 1 学年が終了する時点でのことのことについての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c 旅行の経験についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression I Clear

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

LESSON 5 Study and Activities

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・過去完了形を正しく用いて表現することができる。 ・学習・課外活動について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	--

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 動詞の過去完了形の意味や働きについて理解している。(CHECK-A,B) <技能> 達成した事柄について、動詞の過去完了形を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A, SHARE)	<知識> 動詞の過去完了形の意味や働きについて理解している。(TASK-D) <技能> 行きたいと思っている国や都市について、動詞の過去完了形を用いて話す技能を身につけている。(TASK-D)	<知識> 動詞の過去完了形の意味や働きについて理解している。(TASK-C) <技能> 達成した経験について動詞の過去完了形を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-C, WRITE)
	a	達成した事柄について、動詞の過去完了形などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	行きたいと思っている国や都市について、動詞の過去完了形の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	達成した経験について動詞の過去完了形を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	達成した事柄について、動詞の過去完了形などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	行きたいと思っている国や都市について、動詞の過去完了形の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	達成した経験について動詞の過去完了形を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	達成した事柄について、動詞の過去完了形を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	行きたいと思っている国や都市について、動詞の過去完了形の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	達成した経験について動詞の過去完了形を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	達成した事柄について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-A, SHARE)	行きたいと思っている国や都市についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。(TASK-D)	達成した経験についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-C, WRITE)
	a	達成した事柄について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	行きたいと思っている国や都市についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	達成した経験についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	達成した事柄について、伝え合うことができる。	行きたいと思っている国や都市についての情報を、話すことができる。	達成した経験についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	達成した事柄について、伝え合うことが十分できない。	行きたいと思っている国や都市についての情報を、話すことが十分できない。	達成した経験についての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	達成した事柄について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A, SHARE)	行きたいと思っている国や都市のことについての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-D)	達成した経験についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(TASK-C, WRITE)
	a	達成した事柄について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	行きたいと思っている国や都市のことについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	達成した経験についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	達成した事柄について、伝え合う姿勢がみられる。	行きたいと思っている国や都市のことについての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	達成した経験についての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	達成した事柄について何とか伝え合う姿勢がみられない。	行きたいと思っている国や都市のことについての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	達成した経験についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression I Clear

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

LESSON 6 Food Culture

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> 可能や許可などを表す助動詞を正しく用いて表現することができる。 食文化について話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	---

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと	
知識・技能	目標	<知識> 可能や許可などを表す助動詞の意味や働きについて理解している。(TASK-C) <技能> 許可を求めることについて、可能や許可などを表す助動詞を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-C)	<知識> 可能や許可などを表す助動詞の意味や働きについて理解している。(CHECK-A) <技能> 食事の習慣やマナーについて、可能や許可などを表す助動詞を用いて話す技能を身につけている。(TASK-A,D, SHARE)	<知識> 可能や許可などを表す助動詞の意味や働きについて理解している。(TASK-B) <技能> 日本の習慣やマナーについて可能や許可などを表す助動詞を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-B, WRITE)	
	a	許可を求めることについて、可能や許可などを表す助動詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a 食事の習慣やマナーについて、可能や許可などを表す助動詞の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a 日本の習慣やマナーについて可能や許可などを表す助動詞を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。	
	b	許可を求めることについて、可能や許可などを表す助動詞などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b 食事の習慣やマナーについて、可能や許可などを表す助動詞の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b 日本の習慣やマナーについて可能や許可などを表す助動詞を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	
	c	許可を求めることについて、可能や許可などを表す助動詞を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c 食事の習慣やマナーについて、可能や許可などを表す助動詞の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c 日本の習慣やマナーについて可能や許可などを表す助動詞を用いて、書くことが十分できない。	
思考・判断・表現	目標	許可を求めることについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-C)	目標 食事の習慣やマナーについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。(TASK-A,D, SHARE)	目標 日本の習慣やマナーについての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-B, WRITE)	
	a	許可を求めることについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a 食事の習慣やマナーについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a 日本の習慣やマナーについての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。	
	b	許可を求めることについて、伝え合うことができる。	b 食事の習慣やマナーについての情報を、話すことができる。	b 日本の習慣やマナーについての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。	
	c	許可を求めることについて、伝え合うことが十分できない。	c 食事の習慣やマナーについての情報を、話すことが十分できない。	c 日本の習慣やマナーについての情報を、書くことが十分できない。	
主体的に学習に取り組む態度	目標	許可を求めることについて、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-C)	目標 食事の習慣やマナーのことについての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A,D, SHARE)	目標 日本の習慣やマナーについての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(TASK-B, WRITE)	
	a	許可を求めることについて、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a 食事の習慣やマナーのことについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a 日本の習慣やマナーについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	
	b	許可を求めることについて、伝え合う姿勢がみられる。	b 食事の習慣やマナーのことについての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b 日本の習慣やマナーについての情報を、書こうとする態度がみられる。	
	c	許可を求めることについて何とか伝え合う姿勢がみられない。	c 食事の習慣やマナーのことについての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c 日本の習慣やマナーについての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。	

be English Logic and Expression I Clear

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

LESSON 7 School Life

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・義務や確信などを表す助動詞を正しく用いて表現することができる。 ・学校生活について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	---

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと		
知識・技能	目標	<知識> 義務や確信などを表す助動詞の意味や働きについて理解している。(CHECK-A) <技能> 行くことになっている場所について、義務や確信などを表す助動詞を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A)	<知識> 義務や確信などを表す助動詞の意味や働きについて理解している。(CHECK-B) <技能> 学校の規則について、義務や確信などを表す助動詞を用いて話す技能を身につけている。(TASK-C, SHARE)	目標	<知識> 義務や確信などを表す助動詞の意味や働きについて理解している。(TASK-D) <技能> 学校の規則について義務や確信などを表す助動詞を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-D, WRITE)	
	a	行くことになっている場所について、義務や確信などを表す助動詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	学校の規則について、義務や確信などを表す助動詞の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	学校の規則について義務や確信などを表す助動詞を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	行くことになっている場所について、義務や確信などを表す助動詞などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	学校の規則について、義務や確信などを表す助動詞の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b	学校の規則について義務や確信などを表す助動詞を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	行くことになっている場所について、義務や確信などを表す助動詞を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c	学校の規則について、義務や確信などを表す助動詞の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c	学校の規則について義務や確信などを表す助動詞を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	行くことになっている場所について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-A)	目標	学校の規則についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。(TASK-C, SHARE)	目標	学校の規則についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-D, WRITE)
	a	行くことになっている場所について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a	学校の規則についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a	学校の規則についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	行くことになっている場所について、伝え合うことができる。	b	学校の規則についての情報を、話すことができる。	b	学校の規則についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	行くことになっている場所について、伝え合うことが十分できない。	c	学校の規則についての情報を、話すことが十分できない。	c	学校の規則についての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	行くことになっている場所について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A)	目標	学校の規則のことについての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-C, SHARE)	目標	学校の規則についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(TASK-D, WRITE)
	a	行くことになっている場所について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a	学校の規則のことについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	学校の規則についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	行くことになっている場所について、伝え合う姿勢がみられる。	b	学校の規則のことについての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b	学校の規則についての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	行くことになっている場所について何とか伝え合う姿勢がみられない。	c	学校の規則のことについての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c	学校の規則についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression I Clear

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

LESSON 8 Daily Life

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・意志や推量などを表す助動詞を正しく用いて表現することができる。 ・日常生活について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	---

		話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと		
知識・技能	目標	<知識> 意志や推量などを表す助動詞の意味や働きについて理解している。(TASK-C,D) <技能> 友だちを誘いたいイベントについて、意志や推量などを表す助動詞を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-C,D, SHARE)	目標 <知識> 意志や推量などを表す助動詞の意味や働きについて理解している。(CHECK-B) <技能> 小・中学生のころよくしたことについて、意志や推量などを表す助動詞を用いて話す技能を身につけている。(TASK-B)	目標	<知識> 意志や推量などを表す助動詞の意味や働きについて理解している。(CHECK-A) <技能> イベント企画について意志や推量などを表す助動詞を用いて、書く技能を身につけている。(WRITE)	
	a	友だちを誘いたいイベントについて、意志や推量などを表す助動詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	小・中学生のころよくしたことについて、意志や推量などを表す助動詞の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	イベント企画について意志や推量などを表す助動詞を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	友だちを誘いたいイベントについて、意志や推量などを表す助動詞などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	小・中学生のころよくしたことについて、意志や推量などを表す助動詞の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b	イベント企画について意志や推量などを表す助動詞を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	友だちを誘いたいイベントについて、意志や推量などを表す助動詞を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c	小・中学生のころよくしたことについて、意志や推量などを表す助動詞の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c	イベント企画について意志や推量などを表す助動詞を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	友だちを誘いたいイベントについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-C,D, SHARE)	目標	小・中学生のころよくしたことについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。(TASK-B)	目標	イベント企画についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	友だちを誘いたいイベントについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a	小・中学生のころよくしたことについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a	イベント企画についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	友だちを誘いたいイベントについて、伝え合うことができる。	b	小・中学生のころよくしたことについての情報を、話すことができる。	b	イベント企画についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	友だちを誘いたいイベントについて、伝え合うことが十分できない。	c	小・中学生のころよくしたことについての情報を、話すことが十分できない。	c	イベント企画についての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	友だちを誘いたいイベントについて、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-C,D, SHARE)	目標	小・中学生のころよくしたことのことについての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-B)	目標	イベント企画についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	友だちを誘いたいイベントについて、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a	小・中学生のころよくしたことのことについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	イベント企画についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	友だちを誘いたいイベントについて、伝え合う姿勢がみられる。	b	小・中学生のころよくしたことのことについての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b	イベント企画についての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	友だちを誘いたいイベントについて何とか伝え合う姿勢がみられない。	c	小・中学生のころよくしたことのことについての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c	イベント企画についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression I Clear

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

LESSON 9 Transportation Issues

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・受動態を正しく用いて表現することができる。 ・交通機関の問題について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	--

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 受動態の意味や働きについて理解している。(CHECK-A) <技能> 交通上の安全について、受動態を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A,B, SHARE)	<知識> 感情を表す受動態の意味や働きについて理解している。(CHECK-D) <技能> 交通上の安全について、感情を表す受動態を用いて話す技能を身につけている。(SHARE)	<知識> 受動態の意味や働きについて理解している。(CHECK-C) <技能> 交通の改善のための文章を、受動態を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-C, WRITE)
	a	交通上の安全について、受動態などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a 交通上の安全について、感情を表す受動態を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a 交通の改善のための文章を、受動態を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	交通上の安全について、受動態などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b 交通上の安全について、感情を表す受動態を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b 交通の改善のための文章を、受動態を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	交通上の安全について、受動態を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c 交通上の安全について、感情を表す受動態を用いて、英語で話すことが十分できない。	c 交通の改善のための文章を、受動態を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	交通上の安全について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-A,B, SHARE)	目標 交通上の安全について、危険に思うことや改善したいことを、筋道を立てて詳しく話すことができる。(SHARE)	目標 交通の改善についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-C, WRITE)
	a	交通上の安全について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a 交通上の安全について、危険に思うことや改善したいことを、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a 交通の改善についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	交通上の安全について、伝え合うことができる。	b 交通上の安全について、危険に思うことや改善したいことを、話すことができる。	b 交通の改善についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	交通上の安全について、伝え合うことが十分できない。	c 交通上の安全について、危険に思うことや改善したいことを、話すことが十分できない。	c 交通の改善についての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	交通上の安全について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A,B, SHARE)	目標 交通上の安全について、危険に思うことや改善したいことを、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A, SHARE)	目標 交通の改善についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(TASK-C, WRITE)
	a	交通上の安全について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a 交通上の安全について、危険に思うことや改善したいことを、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a 交通の改善についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	交通上の安全について、伝え合う姿勢がみられる。	b 交通上の安全について、危険に思うことや改善したいことを、話そうとする姿勢がみられる。	b 交通の改善についての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	交通上の安全について何とか伝え合う姿勢がみられない。	c 交通上の安全について、危険に思うことや改善したいことを、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c 交通の改善についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression I Clear

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

LESSON 10 School Life

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞の名詞用法を正しく用いて表現することができる。 将来したい活動について話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	--

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 不定詞の名詞用法の意味や働きについて理解している。(TASK-D) <技能> 将来の夢について、不定詞の名詞用法を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-D)	<知識> 不定詞の名詞用法の意味や働きについて理解している。(CHECK-A) <技能> 自分が将来してみたいことについて、不定詞の名詞用法を用いて話す技能を身につけている。(TASK-A, SHARE)	<知識> 不定詞の名詞用法の意味や働きについて理解している。(CHECK-B,C) <技能> ボランティア募集について不定詞の名詞用法を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-C, WRITE)
	a	将来の夢について、不定詞の名詞用法などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	自分が将来してみたいことについて、不定詞の名詞用法の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	ボランティア募集について不定詞の名詞用法を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	将来の夢について、不定詞の名詞用法などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	自分が将来してみたいことについて、不定詞の名詞用法の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	ボランティア募集について不定詞の名詞用法を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	将来の夢について、不定詞の名詞用法を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	自分が将来してみたいことについて、不定詞の名詞用法の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	ボランティア募集について不定詞の名詞用法を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	将来の夢について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-D)	自分が将来してみたいことについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。(TASK-A, SHARE)	ボランティア募集についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-C, WRITE)
	a	将来の夢について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	自分が将来してみたいことについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	ボランティア募集についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	将来の夢について、伝え合うことができる。	自分が将来してみたいことについての情報を、話すことができる。	ボランティア募集についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	将来の夢について、伝え合うことが十分できない。	自分が将来してみたいことについての情報を、話すことが十分できない。	ボランティア募集についての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	将来の夢について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-D)	自分が将来してみたいことについての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A, SHARE)	ボランティア募集についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(TASK-C, WRITE)
	a	将来の夢について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	自分が将来してみたいことについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	ボランティア募集についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	将来の夢について、伝え合う姿勢がみられる。	自分が将来してみたいことについての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	ボランティア募集についての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	将来の夢について何とか伝え合う姿勢がみられない。	自分が将来してみたいことについての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	ボランティア募集についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression I Clear

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

LESSON 11 Staying Healthy

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞の形容詞用法を正しく用いて表現することができる。 健康について話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	--

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと		
知識・技能	目標	<知識> 不定詞の形容詞用法の意味や働きについて理解している。(CHECK-A) <技能> 具合が悪くなった友だちへのアドバイスについて、不定詞の形容詞用法を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A, SHARE)	目標 <知識> 不定詞の副詞用法の意味や働きについて理解している。(CHECK-B) <技能> 校内放送で病気予防のよびかけをする状況で、不定詞の副詞用法を用いて話す技能を身につけている。(SHARE)	目標 <知識> 不定詞の形容詞用法の意味や働きについて理解している。(CHECK-C,D) <技能> 病気予防の呼びかけについて不定詞の形容詞用法を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-C,D, WRITE)		
	a	具合が悪くなった友だちへのアドバイスについて、不定詞の形容詞用法などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	校内放送で病気予防のよびかけをする状況で、不定詞の副詞用法の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	病気予防の呼びかけについて不定詞の形容詞用法を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	具合が悪くなった友だちへのアドバイスについて、不定詞の形容詞用法などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	校内放送で病気予防のよびかけをする状況で、不定詞の副詞用法の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b	病気予防の呼びかけについて不定詞の形容詞用法を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	具合が悪くなった友だちへのアドバイスについて、不定詞の形容詞用法を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c	校内放送で病気予防のよびかけをする状況で、不定詞の副詞用法の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c	病気予防の呼びかけについて不定詞の形容詞用法を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	具合が悪くなった友だちへのアドバイスについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-A, SHARE)	目標	校内放送で病気予防のよびかけをする状況で、目的や原因についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。(TASK-A, SHARE)	目標	病気予防の呼びかけについての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-C,D, WRITE)
	a	具合が悪くなった友だちへのアドバイスについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a	校内放送で病気予防のよびかけをする状況で、目的や原因についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a	病気予防の呼びかけについての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	具合が悪くなった友だちへのアドバイスについて、伝え合うことができる。	b	校内放送で病気予防のよびかけをする状況で、目的や原因についての情報を、話すことができる。	b	病気予防の呼びかけについての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	具合が悪くなった友だちへのアドバイスについて、伝え合うことが十分できない。	c	校内放送で病気予防のよびかけをする状況で、目的や原因についての情報を、話すことが十分できない。	c	病気予防の呼びかけについての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	具合が悪くなった友だちへのアドバイスについて、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A, SHARE)	目標	校内放送で病気予防のよびかけをする状況で、目的や原因についての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A, SHARE)	目標	病気予防の呼びかけについての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(TASK-C,D, WRITE)
	a	具合が悪くなった友だちへのアドバイスについて、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a	校内放送で病気予防のよびかけをする状況で、目的や原因についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	病気予防の呼びかけについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	具合が悪くなった友だちへのアドバイスについて、伝え合う姿勢がみられる。	b	校内放送で病気予防のよびかけをする状況で、目的や原因についての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b	病気予防の呼びかけについての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	具合が悪くなった友だちへのアドバイスについて何とか伝え合う姿勢がみられない。	c	校内放送で病気予防のよびかけをする状況で、目的や原因についての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c	病気予防の呼びかけについての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression I Clear

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

LESSON 12 New Products

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・使役動詞・知覚動詞などを正しく用いて表現することができる。 ・新しい製品について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	--

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 使役動詞・知覚動詞などの意味や働きについて理解している。(CHECK-A) <技能> 電化製品を買いに行くことについて、使役動詞・知覚動詞などを用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A)	<知識> 使役動詞・知覚動詞などの意味や働きについて理解している。(SHARE) <技能> 便利な電化製品について、使役動詞・知覚動詞などを用いて話す技能を身につけている。(SHARE)	<知識> 使役動詞・知覚動詞などの意味や働きについて理解している。(CHECK-C) <技能> 製品の広告文について使役動詞・知覚動詞などを用いて、書く技能を身につけている。(TASK-B,D, WRITE)
	a	電化製品を買いに行くことについて、使役動詞・知覚動詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	便利な電化製品について、使役動詞・知覚動詞などの表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	製品の広告文について使役動詞・知覚動詞などを用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	電化製品を買いに行くことについて、使役動詞・知覚動詞などを適切に用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	便利な電化製品について、使役動詞・知覚動詞などの表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	製品の広告文について使役動詞・知覚動詞などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	電化製品を買いに行くことについて、使役動詞・知覚動詞などを用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	便利な電化製品について、使役動詞・知覚動詞などの表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	製品の広告文について使役動詞・知覚動詞などを用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	電化製品を買いに行くことについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-A)	便利な電化製品についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。(SHARE)	製品の広告文についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-B,D, WRITE)
	a	電化製品を買いに行くことについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	便利な電化製品についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	製品の広告文についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	電化製品を買いに行くことについて、伝え合うことができる。	便利な電化製品についての情報を、話すことができる。	製品の広告文についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	電化製品を買いに行くことについて、伝え合うことが十分できない。	便利な電化製品についての情報を、話すことが十分できない。	製品の広告文についての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	電化製品を買いに行くことについて、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A)	便利な電化製品についての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	製品の広告文についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(TASK-B,D, WRITE)
	a	電化製品を買いに行くことについて、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	便利な電化製品についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	製品の広告文についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	電化製品を買いに行くことについて、伝え合う姿勢がみられる。	便利な電化製品についての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	製品の広告文についての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	電化製品を買いに行くことについて何とか伝え合う姿勢がみられない。	便利な電化製品についての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	製品の広告文についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression I Clear

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

LESSON 13 Hobbies and Interests

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・動名詞を正しく用いて表現することができる。 ・趣味・関心について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	--

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 動名詞の意味や働きについて理解している。（CHECK-C） <技能> 友人に「何かしていない」ことを謝る状況について、動名詞を用いて、伝え合う技能を身につけている。（TASK-C）	<知識> 動名詞の意味や働きについて理解している。（CHECK-A） <技能> 趣味や興味について、動名詞を用いて話す技能を身につけている。（SHARE）	<知識> 動名詞の意味や働きについて理解している。（CHECK-B,D） <技能> 趣味や夢中になっていることについて動名詞を用いて、書く技能を身につけている。（TASK-D, WRITE）
	a	友人に「何かしていない」ことを謝る状況について、動名詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a 趣味や興味について、動名詞の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a 趣味や夢中になっていることについて動名詞を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	友人に「何かしていない」ことを謝る状況について、動名詞などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b 趣味や興味について、動名詞の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b 趣味や夢中になっていることについて動名詞を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	友人に「何かしていない」ことを謝る状況について、動名詞を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c 趣味や興味について、動名詞の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c 趣味や夢中になっていることについて動名詞を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	友人に「何かしていない」ことを謝る状況について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。（TASK-C）	目標 趣味や興味についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。（SHARE）	目標 趣味や夢中になっていることについての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。（TASK-D, WRITE）
	a	友人に「何かしていない」ことを謝る状況について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a 趣味や興味についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a 趣味や夢中になっていることについての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	友人に「何かしていない」ことを謝る状況について、伝え合うことができる。	b 趣味や興味についての情報を、話すことができる。	b 趣味や夢中になっていることについての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	友人に「何かしていない」ことを謝る状況について、伝え合うことが十分できない。	c 趣味や興味についての情報を、話すことが十分できない。	c 趣味や夢中になっていることについての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	友人に「何かしていない」ことを謝る状況について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。（TASK-C）	目標 趣味や興味についての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。（SHARE）	目標 趣味や夢中になっていることについての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。（TASK-D, WRITE）
	a	友人に「何かしていない」ことを謝る状況について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a 趣味や興味についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a 趣味や夢中になっていることについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	友人に「何かしていない」ことを謝る状況について、伝え合う姿勢がみられる。	b 趣味や興味についての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b 趣味や夢中になっていることについての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	友人に「何かしていない」ことを謝る状況について何とか伝え合う姿勢がみられない。	c 趣味や興味についての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c 趣味や夢中になっていることについての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression I Clear

※3領域について、3つの評価観点原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

LESSON 14 The World of Nature

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> 分詞を正しく用いて表現することができる。 自然について話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	---

		話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 分詞の意味や働きについて理解している。(CHECK-A) <技能> 旅先のレビューについて、分詞を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A, SHARE)	<知識> 分詞の意味や働きについて理解している。(TASK-D) <技能> 与えられた状況について、分詞を用いて話す技能を身につけている。(TASK-D)	<知識> 分詞の意味や働きについて理解している。(CHECK-B,C) <技能> 自然を楽しめる場所のレビューについて分詞を用いて、書く技能を身につけている。(WRITE)
	a	旅先のレビューについて、分詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a 与えられた状況について、分詞の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a 自然を楽しめる場所のレビューについて分詞を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	旅先のレビューについて、分詞などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b 与えられた状況について、分詞の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b 自然を楽しめる場所のレビューについて分詞を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	旅先のレビューについて、分詞を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c 与えられた状況について、分詞の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c 自然を楽しめる場所のレビューについて分詞を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	旅先のレビューについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-A, SHARE)	与えられた状況についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。(TASK-D)	自然を楽しめる場所のレビューについての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(WRITE)
	a	旅先のレビューについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a 与えられた状況についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a 自然を楽しめる場所のレビューについての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	旅先のレビューについて、伝え合うことができる。	b 与えられた状況についての情報を、話すことができる。	b 自然を楽しめる場所のレビューについての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	旅先のレビューについて、伝え合うことが十分できない。	c 与えられた状況についての情報を、話すことが十分できない。	c 自然を楽しめる場所のレビューについての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	旅先のレビューについて、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A, SHARE)	与えられた状況のことについての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-D)	自然を楽しめる場所のレビューについての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	a	旅先のレビューについて、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a 与えられた状況のことについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a 自然を楽しめる場所のレビューについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	旅先のレビューについて、伝え合う姿勢がみられる。	b 与えられた状況のことについての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b 自然を楽しめる場所のレビューについての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	旅先のレビューについて何とか伝え合う姿勢がみられない。	c 与えられた状況のことについての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c 自然を楽しめる場所のレビューについての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression I Clear

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

LESSON 15 Trouble and Accidents

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> 分詞構文などを正しく用いて表現することができる。 トラブル・事故について話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	--

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 分詞構文などの意味や働きについて理解している。(CHECK-A) <技能> ニュース記事の内容について、分詞構文などを用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A, SHARE)	目標 <知識> 分詞構文などの意味や働きについて理解している。(TASK-B) <技能> 与えられた状況について、分詞構文などを用いて話す技能を身につけている。(TASK-B)	目標 <知識> 分詞構文などの意味や働きについて理解している。(CHECK-C) <技能> 最近のニュースや自分に起きた出来事について分詞構文などを用いて、書く技能を身につけている。(TASK-D, WRITE)
	a	ニュース記事の内容について、分詞構文などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a 与えられた状況について、分詞構文などの表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a 最近のニュースや自分に起きた出来事について分詞構文などを用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	ニュース記事の内容について、分詞構文などを適切に用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b 与えられた状況について、分詞構文などの表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b 最近のニュースや自分に起きた出来事について分詞構文などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	ニュース記事の内容について、分詞構文などを用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c 与えられた状況について、分詞構文などの表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c 最近のニュースや自分に起きた出来事について分詞構文などを用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	ニュース記事の内容について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-A, SHARE)	目標 与えられた状況についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。(TASK-B)	目標 最近のニュースや自分に起きた出来事についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-D, WRITE)
	a	ニュース記事の内容について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a 与えられた状況についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a 最近のニュースや自分に起きた出来事についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	ニュース記事の内容について、伝え合うことができる。	b 与えられた状況についての情報を、話すことができる。	b 最近のニュースや自分に起きた出来事についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	ニュース記事の内容について、伝え合うことが十分できない。	c 与えられた状況についての情報を、話すことが十分できない。	c 最近のニュースや自分に起きた出来事についての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	ニュース記事の内容について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A, SHARE)	目標 与えられた状況のことについての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-B)	目標 最近のニュースや自分に起きた出来事についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(TASK-D, WRITE)
	a	ニュース記事の内容について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a 与えられた状況のことについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a 最近のニュースや自分に起きた出来事についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	ニュース記事の内容について、伝え合う姿勢がみられる。	b 与えられた状況のことについての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b 最近のニュースや自分に起きた出来事についての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	ニュース記事の内容について何とか伝え合う姿勢がみられない。	c 与えられた状況のことについての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c 最近のニュースや自分に起きた出来事についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression I Clear

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

LESSON 16 Inventions

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞を正しく用いて表現することができる。 ・発明について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	---

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 関係代名詞の意味や働きについて理解している。(TASK-B) <技能> 尊敬する人やお勤めの便利な発明品について、関係代名詞を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-B)	目標 <知識> 関係代名詞の意味や働きについて理解している。(CHECK-D) <技能> 偉人や発明品について、関係代名詞を用いて話す技能を身につけている。(TASK-A, SHARE)	目標 <知識> 関係代名詞の意味や働きについて理解している。(CHECK-C) <技能> 発明品とその機能について関係代名詞を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-C, WRITE)
	a	尊敬する人やお勤めの便利な発明品について、関係代名詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a 偉人や発明品について、関係代名詞の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a 発明品とその機能について関係代名詞を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	尊敬する人やお勤めの便利な発明品について、関係代名詞などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b 偉人や発明品について、関係代名詞の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b 発明品とその機能について関係代名詞を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	尊敬する人やお勤めの便利な発明品について、関係代名詞を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c 偉人や発明品について、関係代名詞の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c 発明品とその機能について関係代名詞を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	尊敬する人やお勤めの便利な発明品について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-B)	目標 偉人や発明品についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。(TASK-A, SHARE)	目標 発明品とその機能についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-C, WRITE)
	a	尊敬する人やお勤めの便利な発明品について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a 偉人や発明品についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a 発明品とその機能についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	尊敬する人やお勤めの便利な発明品について、伝え合うことができる。	b 偉人や発明品についての情報を、話すことができる。	b 発明品とその機能についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	尊敬する人やお勤めの便利な発明品について、伝え合うことが十分できない。	c 偉人や発明品についての情報を、話すことが十分できない。	c 発明品とその機能についての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	尊敬する人やお勤めの便利な発明品について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-B)	目標 偉人や発明品についての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A, SHARE)	目標 発明品とその機能についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(TASK-C, WRITE)
	a	尊敬する人やお勤めの便利な発明品について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a 偉人や発明品についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a 発明品とその機能についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	尊敬する人やお勤めの便利な発明品について、伝え合う姿勢がみられる。	b 偉人や発明品についての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b 発明品とその機能についての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	尊敬する人やお勤めの便利な発明品について何とか伝え合う姿勢がみられない。	c 偉人や発明品についての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c 発明品とその機能についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression I Clear

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

LESSON 17 Cities and Towns

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・関係副詞を正しく用いて表現することができる。 ・都市・町について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	--

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 関係副詞の意味や働きについて理解している。(TASK-B) <技能> 記憶にはっきりと残っている日について、関係副詞を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-B)	目標 <知識> 関係副詞の意味や働きについて理解している。(CHECK-A) <技能> 都市や町の名所について、関係副詞を用いて話す技能を身につけている。(TASK-D, SHARE)	目標 <知識> 関係副詞の意味や働きについて理解している。(CHECK-C) <技能> 都市や町の魅力について関係副詞を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-C, WRITE)
	a	記憶にはっきりと残っている日について、関係副詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a 都市や町の名所について、関係副詞の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a 都市や町の魅力について関係副詞を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	記憶にはっきりと残っている日について、関係副詞などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b 都市や町の名所について、関係副詞の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b 都市や町の魅力について関係副詞を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	記憶にはっきりと残っている日について、関係副詞を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c 都市や町の名所について、関係副詞の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c 都市や町の魅力について関係副詞を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	記憶にはっきりと残っている日について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-B)	目標 都市や町の名所についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。(TASK-D, SHARE)	目標 都市や町の魅力についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-C, WRITE)
	a	記憶にはっきりと残っている日について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a 都市や町の名所についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a 都市や町の魅力についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	記憶にはっきりと残っている日について、伝え合うことができる。	b 都市や町の名所についての情報を、話すことができる。	b 都市や町の魅力についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	記憶にはっきりと残っている日について、伝え合うことが十分できない。	c 都市や町の名所についての情報を、話すことが十分できない。	c 都市や町の魅力についての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	記憶にはっきりと残っている日について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-B)	目標 都市や町の名所についての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-D, SHARE)	目標 都市や町の魅力についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(TASK-C, WRITE)
	a	記憶にはっきりと残っている日について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a 都市や町の名所についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a 都市や町の魅力についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	記憶にはっきりと残っている日について、伝え合う姿勢がみられる。	b 都市や町の名所についての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b 都市や町の魅力についての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	記憶にはっきりと残っている日について何とか伝え合う姿勢がみられない。	c 都市や町の名所についての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c 都市や町の魅力についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression I Clear

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

LESSON 18 Living Environment

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> 比較表現を正しく用いて表現することができる。 生活環境について話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	---

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 比較表現の意味や働きについて理解している。(TASK-B) <技能> 都会と地方の比較について、比較表現を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-B, SHARE)	目標 <知識> 比較表現の意味や働きについて理解している。(CHECK-A) <技能> 自分の家や町とほかの比較について、比較表現を用いて話す技能を身につけている。(TASK-A)	目標 <知識> 比較表現の意味や働きについて理解している。(CHECK-C,D) <技能> 都会と地方のどちらがよいかについて比較表現を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-C,D, WRITE)
	a	都会と地方の比較について、比較表現などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a 自分の家や町とほかの比較について、比較表現の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a 都会と地方のどちらがよいかについて比較表現を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	都会と地方の比較について、比較表現などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b 自分の家や町とほかの比較について、比較表現の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b 都会と地方のどちらがよいかについて比較表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	都会と地方の比較について、比較表現を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c 自分の家や町とほかの比較について、比較表現の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c 都会と地方のどちらがよいかについて比較表現を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	都会と地方の比較について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-B, SHARE)	目標 自分の家や町とほかの比較についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。(TASK-A)	目標 都会と地方のどちらがよいかについての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-C,D, WRITE)
	a	都会と地方の比較について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a 自分の家や町とほかの比較についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a 都会と地方のどちらがよいかについての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	都会と地方の比較について、伝え合うことができる。	b 自分の家や町とほかの比較についての情報を、話すことができる。	b 都会と地方のどちらがよいかについての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	都会と地方の比較について、伝え合うことが十分できない。	c 自分の家や町とほかの比較についての情報を、話すことが十分できない。	c 都会と地方のどちらがよいかについての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	都会と地方の比較について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-B, SHARE)	目標 自分の家や町とほかの比較のことについての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A)	目標 都会と地方のどちらがよいかについての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(TASK-C,D, WRITE)
	a	都会と地方の比較について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a 自分の家や町とほかの比較のことについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a 都会と地方のどちらがよいかについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	都会と地方の比較について、伝え合う姿勢がみられる。	b 自分の家や町とほかの比較のことについての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b 都会と地方のどちらがよいかについての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	都会と地方の比較について何とか伝え合う姿勢がみられない。	c 自分の家や町とほかの比較のことについての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c 都会と地方のどちらがよいかについての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression I Clear

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

LESSON 19 Social Problems

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・最上級を正しく用いて表現することができる。 ・社会問題について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	---

		話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 最上級の意味や働きについて理解している。(CHECK-B) <技能> スマートフォンとのつきあい方について、最上級を用いて、伝え合う技能を身につけている。(SHARE)	<知識> 最上級の意味や働きについて理解している。(TASK-B,D) <技能> 身近な社会問題について、最上級を用いて話す技能を身につけている。(TASK-B,D)	<知識> 最上級の意味や働きについて理解している。(CHECK-A) <技能> 社会問題への考えや解決策について最上級を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-A,C, WRITE)
	a	スマートフォンとのつきあい方について、最上級などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	身近な社会問題について、最上級の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	社会問題への考えや解決策について最上級を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	スマートフォンとのつきあい方について、最上級などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	身近な社会問題について、最上級の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	社会問題への考えや解決策について最上級を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	スマートフォンとのつきあい方について、最上級を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	身近な社会問題について、最上級の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	社会問題への考えや解決策について最上級を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	スマートフォンとのつきあい方について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-B, SHARE)	身近な社会問題についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。(TASK-B,D)	社会問題への考えや解決策についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-A,C, WRITE)
	a	スマートフォンとのつきあい方について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	身近な社会問題についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	社会問題への考えや解決策についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	スマートフォンとのつきあい方について、伝え合うことができる。	身近な社会問題についての情報を、話すことができる。	社会問題への考えや解決策についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	スマートフォンとのつきあい方について、伝え合うことが十分できない。	身近な社会問題についての情報を、話すことが十分できない。	社会問題への考えや解決策についての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	スマートフォンとのつきあい方について、相手に分かりやすく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-B, SHARE)	身近な社会問題のことについての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-B,D)	社会問題への考えや解決策についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(TASK-A,C, WRITE)
	a	スマートフォンとのつきあい方について、自ら進んで相手に分かりやすく伝え合おうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	身近な社会問題のことについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	社会問題への考えや解決策についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	スマートフォンとのつきあい方について、伝え合おうとする姿勢がみられる。	身近な社会問題のことについての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	社会問題への考えや解決策についての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	スマートフォンとのつきあい方について何とか伝え合おうとする姿勢がみられない。	身近な社会問題のことについての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	社会問題への考えや解決策について、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression I Clear

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目のみお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B,D)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

LESSON 20 Making a Wish

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> 仮定法を正しく用いて表現することができる。 願い事について話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
-------------	---

		話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能	目標	<知識> 仮定法の意味や働きについて理解している。(CHECK-A) <技能> 自分がなりたい職業について、仮定法を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A)	<知識> 仮定法の意味や働きについて理解している。(CHECK-B) <技能> 現在や過去のことについての願望について、仮定法を用いて話す技能を身につけている。(TASK-B,C, SHARE)	<知識> 仮定法の意味や働きについて理解している。(TASK-D) <技能> 今年度の反省点と来年度の抱負について仮定法を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-D, WRITE)
	a	自分がなりたい職業について、仮定法などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a 現在や過去のことについての願望について、仮定法の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a 今年度の反省点と来年度の抱負について仮定法を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	自分がなりたい職業について、仮定法などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b 現在や過去のことについての願望について、仮定法の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b 今年度の反省点と来年度の抱負について仮定法を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	自分がなりたい職業について、仮定法を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c 現在や過去のことについての願望について、仮定法の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c 今年度の反省点と来年度の抱負について仮定法を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	自分がなりたい職業について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-A)	目標 現在や過去のことについての願望についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。(TASK-B,C, SHARE)	目標 今年度の反省点と来年度の抱負についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-D, WRITE)
	a	自分がなりたい職業について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a 現在や過去のことについての願望についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a 今年度の反省点と来年度の抱負についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	自分がなりたい職業について、伝え合うことができる。	b 現在や過去のことについての願望についての情報を、話すことができる。	b 今年度の反省点と来年度の抱負についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	自分がなりたい職業について、伝え合うことが十分できない。	c 現在や過去のことについての願望についての情報を、話すことが十分できない。	c 今年度の反省点と来年度の抱負についての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	自分がなりたい職業について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A)	目標 現在や過去のことについての願望についての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-B,C, SHARE)	目標 今年度の反省点と来年度の抱負についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(TASK-D, WRITE)
	a	自分がなりたい職業について、自ら進んで筋道を立てて伝え合おうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a 現在や過去のことについての願望についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a 今年度の反省点と来年度の抱負についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	自分がなりたい職業について、伝え合おうとする姿勢がみられる。	b 現在や過去のことについての願望についての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b 今年度の反省点と来年度の抱負についての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	自分がなりたい職業について何とか伝え合おうとする姿勢がみられない。	c 現在や過去のことについての願望についての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c 今年度の反省点と来年度の抱負についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。